

## 1 戦国時代

## 下剋上と戦国大名

応仁の乱にはじまる全国的な争乱（wars all over the nation）のなか、守護大名（guardian feudal lords）の内には、守護代（deputy military governor）や領国（territory）内の有力家臣（powerful vassals）に領国を奪われる（be deprived of one's territory）ものが現れた。このような、下のもの（the low）が上のもの（the high）をしのご（overturn）風潮（tendency）を下剋上（retainers overthrowing their lords）といい、この風潮の高まった応仁の乱の頃から約1世紀にわたる戦乱の時代（the time of wars）を戦国時代（the Sengoku Period）という。

守護大名のなかでは甲斐の武田氏、駿河・遠江の今川氏、豊後の大友氏、薩摩・大隅の島津氏などが領国を支配し続け（continue to control one's territories）、周辺諸国（neighboring provinces）にもその勢力を及ぼした（extend one's influence to）が、一方では（meanwhile）、国内に新しく台頭した（emerge）守護代や国人（local samurai）などが勢力を伸長して（expand one's power）国を支配する（control one's provinces）ようになる場合もあった。こうした、みずからの力で（on one's own）領国（分国）をつくり上げ、実力によって支配体制を築いた（establish a control system）大名（territorial lords）を戦国大名（territorial lords in the Sengoku Period）とよぶ。

戦国大名は、独自の支配を行う（rule on one's own）地方権力（local administration）として、各地に割拠した（rise in various areas）。関東地方では、15世紀末に（at the end of the 15th century）北条早雲が伊豆や相模に進出して（expand into）小田原を本拠とし（establish one's own base in）、子の氏綱や孫の氏康の時代に、北条氏は関東の大半を支配する（control most of the Kanto Region）大名になった。

中部地方では、16世紀半ば（in the middle of the 16th century）の越後で、守護（military governor）上杉氏の守護代長尾景虎が関東管領（the deputy to the Shogun）上杉氏をついで上杉謙信と名のり、甲斐から信濃に領国を拡張した（expand one's territories）武田信玄（晴信）と、北信濃の川中島などで戦った。尾張では守護代織田氏が台頭し、美濃では商人出身（from a merchant）の斎藤道三が支配した（take the control）。

## 戦国大名の分国法

群雄割拠した（samurai and clans struggled with each other）戦国大名（territorial lords in the Sengoku Period）は、分国（territories）を支配するために富国強兵（the policy of increasing wealth and military power）や領内統治（strong control of the domains）のための政策を次々と打ち出した（announce one policy after another）。その政治方針（political policies）は、分国法（the law individual territorial lord enforced in their own domain）とよばれる領国支配の基本法典（basic legal codes for controlling the domain）などからうかがえる。

分国法は、家臣（vassals）が私的に同盟を結ぶ（form an alliance privately）ことや、領地を勝手に売買する（buy and sell territories as one likes）ことを禁止したり（ban）、家臣相互の紛争（struggles among vassals）を私闘で解決する（settle down by fighting）ことを禁止する喧嘩両成敗（when a quarrel occurs, both parties are to blame）を定めたりするなど、家臣を統制する（control vassals）ためのものが多く規定され（many rules were implemented）、違反者（those who violate the law）には厳罰が課せられた（severe punishment was imposed）。

## 2 安土桃山時代

## 織田信長と天下統一

戦国大名（territorial lords in the Sengoku Period）のなかで、いち早く京都



## 1 日本語

## 日本語の起源と万葉仮名

日本語がどのようにして形成されたか（how the present Japanese language was formed）についてはさまざまな研究がなされてはいる（various studies have been conducted）が、はっきりしたことは明らかになっていない。オーストロネシア語など南方系言語から（be derived from a southern region）という説（theory）と、北方アルタイ語の系統から（be derived from a northern region）という説、または南方系と北方系言語が融合しつつ形成されていった（both have been integrated）という説などがある。

現在、日本語の文字（Japanese letters）は3種類ある。漢字（Chinese characters）、片仮名（katakana）、平仮名（hiragana, a kind of “Japanese alphabet”）である。日本語の文字としての始まり（the origin of the Japanese letters as a written form）は「漢字」で、4世紀末から5世紀初めの頃に中国との交流のなかで（through the exchanges with China）導入されて（be introduced）きた。

しかし、中国語と日本語は異なる体系の言語（languages with different language systems）である。日本語は「膠着語」と分類される（be classified as）言語で、助詞（particles）・助動詞（auxiliary verbs）の種類が多く、それが名詞（noun）や動詞（verb）などの実質的な意味をもつ単語（words which have practical meanings）に「膠（glue）」で接着したように（as if to be bonded）くっついて（be attached to each other）文法的に機能する（function grammatically）。一方、中国語は「孤立語」と呼ばれる言語で、助詞・助動詞

▼ 漢字

安以宇衣於  
加幾久計己

の運用が少ない。中国語から借りてきた「漢字」（Chinese characters which were borrowed from the Chinese language）を日本語で運用するために、日本独自の工夫が施される（arrangements distinctive to the Japanese language are made）ことになる。それが、「仮名（平仮名・片仮名）」の始まりといわれている。

本来、漢字は表意文字（ideogram）であり、その文字一つ一つ（each of the letters）には意味が含まれている。しかし、これを表音文字（phonograms）として運用し、日本語の発音（the Japanese pronunciation）に漢字を当てていく（apply Chinese characters to）表記上の（in the written form）工夫が創出された。こうした用法は「万葉集（the first major anthology of early Japanese poetry）」（上代の歌集）によく見られるため、「万葉仮名」と呼ばれている。この「万葉仮名」から現在の「平仮名」「片仮名」が生じることになる。

## 平仮名の誕生

9世紀に入ると、草書体（簡略化した漢字表記）（cursive style script）での万葉仮名が登場する。これは「草仮名」と呼ばれる。こうした簡略化した表記（a simplified manner of script）は、日本語特有の表現を素早く書くことを可能にした（made Japanese-specific expressions easier to write quickly）だけでなく、漢字を十分に使いこ

▼ 平仮名

あいうえお  
かきくけこ

なせない（have bad command of Chinese characters）識字能力の低い層の人々（a class of people with lower level of literacy）にも文章の作成が可能となった（made it possible to write sentences）という点で意義の大きい（of great significance）ことであつたといわれている。

こうした草仮名をさらに簡略化して「平仮名」が誕生する。日本語の48音節（syllables）をそのまま表記できる「平仮名」は画期的な（revolutionary）ものではあつたが、和歌（waka, traditional Japanese poetry, which is composed of 31 letters）を書き記す（write down）場合や女性の手紙文（letters written by